

地域の人、歴史、自然から学ぶウルラ

埼玉県さいたま市

活動名

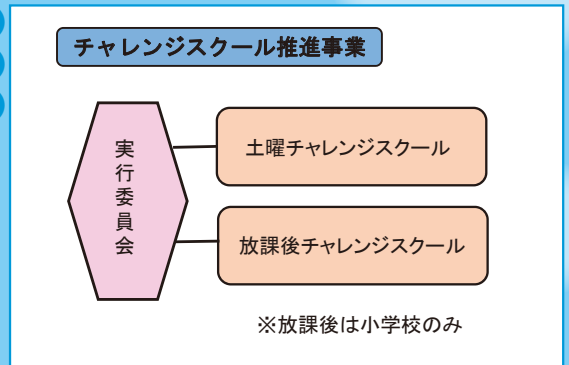
中島小チャレンジスクール・ウルラ

関係する学校名

中島小学校

基本データ	学校支援活動	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	地域未来塾	0人	1人	15人	65人	23年度	有	無	有	
	放課後子供教室	0人	1人	65人	年間開催日数	23年度	有	無	有	
		実施場所		学習支援	放課後児童クラブとの連携					
		図書室、体育館、図工室等		有	一体型					
	土曜日の教育活動	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
コミュニティ・スクール	指定日					委員数	児童生徒数	学級数		

体制図



活動の概要
 地域の方にボランティアとして協力していただき、平成23年に中島小チャレンジスクール・ウルラ（略称 中島小ウルラ）として発足。全児童を対象に、月曜日の放課後及び土曜日の午前中に学習活動とレクリエーション等を実施しており、毎年月曜・土曜で合計120名を超える子供たちが参加している。
 ※本校のチャレンジスクールの愛称は「ウルラ」：ラテン語のフクロウを意味し「学問の神」「知恵の象徴」として崇められている。愛称、シンボルマークは子供たちに「知恵ある子」に成長してほしいという願いを含め、デザインともどもウルラのシンボルとして活用している。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- 月曜ウルラ：学習、レクリエーションの2コースに分かれての取組。学習コースでは宿題や予習復習など自習の他に、英会話、将棋も併設。レクリエーションは「みんななかよく」をテーマに異学年での活動を行っている（ドッジボール、縄跳び、バドミントン、折り紙教室等）。
- 土曜ウルラ：毎週土曜日を基本にレクリエーション、絵手紙、英会話、新聞から学ぶの4コースに分かれ、全員が年間を通して、全種目バランスよく参加できるようにしている。
- 子供たちの知的欲求に応え、ウルラの活動が一層充実したものになるよう、年間20回程度の特別プログラムを実施している（エクスリプリスの作成、縄跳び・鉄棒名人から学ぶ講座、地域の伝統行事から学ぶ体験講座、地域の自然から学ぶ講座等）。

【実施に当たっての工夫】

- 開設当初からの目標は、「学力を高める」こと。子供たちの興味関心を高め、異なる世代やたくさんの職業の方々との交流によりコミュニケーション力を得ることは何にも代えがたい力となっている。子供たちを身近で見守り、保護者とは違う目線で成長を手助けすることこそ地域の大切な力である。
- そのため、「地域の歴史や自然から学ぶ取組」（地域の誇る古墳や緑地に生息するジャコウアゲハの観察、森から学び自然を守る活動）や「伝統行事」（七夕でのマコモ馬の作成、正月飾りの作成、シュロバツづくり、それらを集大成した中島郷土かるたの作成）等を行い、子供たちにとって、地域の再発見、再認識、誇り、地域への愛着へと続くよう工夫している。
- また、地域の人々が子供たちの支援者となっているが、特に、ウルラを卒業した子供たちが中学生となりジュニアスタッフとしてウルラに参加するなど、地域の中学校とも連携・協働しながら子供たちの身近な先輩がウルラの活動を支えている。指導に当たる年齢層は13歳から93歳までと幅広い。

● 事業を実施しての効果・成果

- 異世代や多くの職業の方々との交流や地域に関わる様々な活動を通して、子供たちは以前よりも地域への理解・愛着が強くなった。
- 子供たちに教えてくださるのは教師だけではない。地域の中にこそ地域の発展に力を注ぎ、支えてくださる方が大勢いる。地域の発展とともに地区外からの転入者も多くなる中、本地域の伝統行事や文化、習慣に関して理解とともに積極的な参加を得られれば望外の喜びである。
- 子供たちには、学ぶべきものは身近なところにあることを様々な活動や体験を通して知ってもらい、そして、その中でボランティアとして取り組む地域の方との会話や生き方を学んでもらいたい。それが本活動で一番大切なことであると考えている。地域の中で育ち、地域を愛する子供たちへ今後とも力を注いでいきたい。

● その他

株式会社ヤクルト本社による「健康教室」、SMBC コンシューマーファイナンス株式会社による「お金のお話」等多くの企業と連携・協働を取り、活動を充実させている。また、月曜ウルラでは、学習支援として自学自習の他、英会話もやっている。



中島小・ウルラ シンボルマーク



卒業生による音楽会